

目次

はじめに 1

第 I 部 持続可能な暮らしと社会の実現に向けた国土交通省の挑戦

第 1 章 人口減少と国土交通行政 4

第 1 節 本格化する少子高齢化・人口減少に おける課題 4	第 2 節 未来につながる変革と持続可能で 豊かな社会を目指して 35
1 我が国の経済社会と人口減少 5	1 海外と比較した我が国の現状 35
2 将来の生産年齢人口の減少 16	2 政府の施策と国土交通分野における動き 37
3 高齢社会と地域活力の維持 27	3 今後の社会課題解決への期待 52

第 2 章 国土交通分野における取組みと今後の展望 57

第 1 節 国土交通分野の現状と方向性 57	第 2 節 望ましい将来への展望 101
1 技術活用による持続可能な社会に向けた 取組み 57	1 国民の願う将来の社会像（2050年代 以降の新たな暮らしと社会） 101
2 子ども・子育て等にやさしい社会に向け た取組み 71	2 持続可能で豊かな社会が実現する将来の 展望 115
3 地域の持続性につなげる取組み 86	

特集 令和 6 年能登半島地震への対応

特集 令和 6 年能登半島地震への対応 124

1 災害の状況 124	5 国土交通省における生活・生業支援 132
2 国土交通省における発災直後の対応 126	6 予備費 135
3 国土交通省におけるインフラ復旧支援 128	7 おわりに 135
4 国土交通省における物流・物資支援 131	

第Ⅱ部 国土交通行政の動向

第1章 時代の要請にこたえた国土交通行政の展開	138
第1節 東日本大震災からの復旧・復興の現状 と対応策	138
第2節 東日本大震災を教訓とした津波防災地 域づくり	138
第3節 国土政策の推進	139
第4節 社会資本の老朽化対策等	139
第5節 社会資本整備の推進	141
第6節 交通政策の推進	144
1 交通政策基本法に基づく政策展開	144
2 年次報告の実施	144
3 持続可能な地域旅客運送サービスの提供 の確保に資する取組みの推進	144
第7節 海洋政策（海洋立国）の推進	145
1 海洋基本計画の着実な推進	145
2 我が国の海洋権益の保全	146
第8節 海洋の安全・秩序の確保	148
第9節 土地政策の推進	150
1 土地政策の動向	150
2 年次報告の実施	150
第10節 新たな国と地方、民間との関係の 構築	151
1 官民連携等の推進	151
第11節 政策評価・事業評価・対話型行政	151
1 政策評価の推進	151
2 事業評価の実施	151
3 国民に開かれた行政運営と対話型行政の 推進	152
第2章 観光立国の実現と美しい国づくり	153
第1節 観光をめぐる動向	153
1 観光立国の意義	153
2 年次報告の実施	153
第2節 観光立国の実現に向けた取組み	153
1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に	153
2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、 我が国の基幹産業に	154
3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に 観光を満喫できる環境に	155
第3節 良好な景観形成等美しい国づくり	157
1 良好な景観の形成	157
2 自然・歴史や文化を活かした地域 づくり	158
第3章 地域活性化の推進	160
第1節 地方創生・地域活性化に向けた取組み	160
第2節 地域活性化を支える施策の推進	161
1 地域や民間の自主性・裁量性を高めるた めの取組み	161
2 コンパクトシティの実現に向けた総合的 取組み	162
3 地域特性を活かしたまちづくり・基盤整 備	162
4 広域圏の自立・活性化と地域・国土づく り	166
5 地域の連携・交流の促進	167
6 地域の移動手段の確保	167
第3節 民間都市開発等の推進	169
1 民間都市開発の推進	169
第4節 特定地域振興対策の推進	170
1 豪雪地帯対策	170
2 離島振興	170

3 奄美群島・小笠原諸島の振興開発	170	1 北海道総合開発計画の推進	171
4 半島振興	170	2 特色ある地域・文化の振興	171
第5節 北海道総合開発の推進	171		

第4章 心地よい生活空間の創生

第1節 豊かな住生活の実現	173	2 歩行者・自転車優先の道づくりの推進	177
1 住生活の安定の確保及び向上の促進	173	第3節 自転車活用政策の推進	178
2 良好な宅地の供給及び活用	176	1 自転車活用推進法に基づく自転車活用推 進計画の推進	178
第2節 快適な生活環境の実現	177	第4節 利便性の高い交通の実現	178
1 緑豊かな都市環境の形成	177		

第5章 競争力のある経済社会の構築

第1節 交通ネットワークの整備	180	第3節 産業の活性化	192
1 幹線道路ネットワークの整備	180	1 鉄道関連産業の動向と施策	192
2 幹線鉄道ネットワークの整備	181	2 自動車運送事業等の動向と施策	194
3 航空ネットワークの整備	183	3 海事産業の動向と施策	195
4 空港への交通アクセス強化	186	4 航空事業の動向と施策	199
第2節 総合的・一体的な物流施策の推進	187	5 貨物利用運送事業の動向と施策の推進	199
1 物流DXや物流標準化の推進によるサブ ライチェーン全体の徹底した最適化	187	6 倉庫業の動向と施策	199
2 時間外労働の上限規制の適用を見据えた 労働力不足対策の加速と物流構造改革の 推進	187	7 トラックターミナル事業の動向と施策	200
3 強靱性と持続可能性を確保した物流ネッ トワークの構築	190	8 不動産業の動向と施策	200
		9 公共工事の品質確保	203
		10 持続可能な建設産業の構築	205

第6章 安全・安心社会の構築

第1節 ユニバーサル社会の実現	208	1 防災減災が主流となる社会の実現	211
1 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ たバリアフリー化の実現	208	2 災害に強い安全な国土づくり・危機管理 に備えた体制の充実強化	213
2 少子化社会の子育て環境づくり (こどもまんなかまちづくり等)	209	3 災害に強い交通体系の確保	232
3 高齢社会への対応	210	第3節 建築物の安全性確保	234
4 歩行空間における移動支援サービスの普 及・高度化	211	第4節 交通分野における安全対策の強化	234
第2節 自然災害対策	211	1 運輸事業者における安全管理体制の構 築・改善	234
		2 鉄軌道交通における安全対策	235

3	海上交通における安全対策	237	第5節 危機管理・安全保障対策	249
4	航空交通における安全対策	239	1 犯罪・テロ対策等の推進	249
5	航空、鉄道、船舶事故等における原因究明と事故等防止	242	2 事故災害への対応体制の確立	252
6	公共交通における事故による被害者・家族等への支援	243	3 海上における治安の確保	252
7	道路交通における安全対策	243	4 安全保障と国民の生命・財産の保護	253
			5 重篤な感染症及び影響の大きい家畜伝染病対策	254
第7章 美しく良好な環境の保全と創造				255
第1節	地球温暖化対策の推進	255	2 水の恵みを将来にわたって享受できる社会を目指して	267
1	地球温暖化対策の実施等	255	3 水環境改善への取組み	268
2	地球温暖化対策（緩和策）の推進	255	4 水をはぐくむ・水を上手に使う	269
3	再生可能エネルギー等の利活用の推進	260	5 下水道整備の推進による快適な生活の実現	270
4	地球温暖化対策（適応策）の推進	261	第5節 海洋環境等の保全	272
第2節	循環型社会の形成促進	262	第6節 大気汚染・騒音の防止等による生活環境の改善	273
1	建設リサイクル等の推進	262	1 道路交通環境問題への対応	273
2	循環資源物流システムの構築	262	2 空港と周辺地域の環境対策	274
3	自動車・船舶のリサイクル	263	3 鉄道騒音対策	274
4	グリーン調達に基づく取組み	263	4 ヒートアイランド対策	274
5	木材利用の推進	264	5 シックハウス等への対応	275
第3節	豊かで美しい自然環境を保全・再生する国土づくり	264	6 建設施工における環境対策	275
1	生物多様性の保全のための取組み	264	第7節 地球環境の観測・監視・予測	276
2	豊かで美しい河川環境の形成	265	1 地球環境の観測・監視	276
3	海岸・沿岸域の環境の整備と保全	266	2 地球環境の予測・研究	277
4	港湾行政のグリーン化	266	3 地球規模の測地観測の推進	278
5	道路の緑化・自然環境対策等の推進	267		
第4節	健全な水循環の維持又は回復	267		
1	水循環政策の推進	267		
第8章 戦略的国際展開と国際貢献の強化				279
第1節	インフラシステム海外展開の促進	279	第2節 国際交渉・連携等の推進	286
1	政府全体の方向性	279	1 経済連携における取組み	286
2	国土交通省における取組み	279	2 国際機関等への貢献と戦略的活用	286
3	国土交通省のインフラシステム海外展開に係るアプローチ	281	3 各分野における多国間・二国間国際交渉・連携の取組み	292
4	各国・地域における取組み	282	第3節 国際標準化に向けた取組み	297

第9章 DX及び技術研究開発の推進	300
第1節 DXによる高度化・効率化	300
1 国土交通行政のDX	300
第2節 デジタル技術の活用によるイノベーションの推進	301
1 ITSの推進	301
2 自動運転の実現	302
3 地理空間情報を高度に活用する社会の実現	303
4 デジタル・ガバメントの実現	304
5 公共施設管理用光ファイバ及びその収容空間等の整備・開放	305
6 水管理・国土保全分野におけるDXの推進	305
7 ビッグデータの活用	306
8 気象データを活用したビジネスにおける生産性向上の取組み	306
9 まちづくりDXの推進	306
10 国土交通データプラットフォーム	307
第3節 技術研究開発の推進	308
1 技術政策における技術研究開発の位置付けと総合的な推進	308
2 公共事業における新技術の活用・普及の推進	309
第4節 建設マネジメント（管理）技術の向上	310
1 公共工事における積算技術の充実	310
2 BIM/CIMの取組み	310
第5節 建設機械・機械設備に関する技術開発等	310

コラム

■ 3Dプリンタ技術による住宅建築の省人化・省力化	13	■ 群マネモデル地域について	96
■ 子連れ出勤	23	■ 道の駅整備による地域活性化	99
■ 子育てしやすい環境づくりの推進	24	■ 2050年代以降に向けた持続可能で活力ある暮らしと社会	102
■ 砧公園 ～だれもが利用できる遊び場～	26	■ 人口減少局面でも持続可能な都市構造へ	109
■ まちなかの再生による賑わいの創出	34	■ AI・ロボット・ドローンによる次世代のインフラメンテナンス	115
■ 被災地における短時間での住空間の提供	38	■ BIM/CIMを活用した建設生産プロセス全体のデータの連携	115
■ 男性の育児休業取得に向けた支援	39	■ 物流のインターネット	116
■ 男性の育児休業の取得を促す「パパ・クォータ」	40	■ 新しい水道インフラのかたち	116
■ 子ども目線のまちづくり教育プログラム	41	■ 新しい防災のかたち	117
■ 子どもにやさしいコーポラティブハウス	42	■ デジタルツイン実現プロジェクト	117
■ 人口規模が小さい地域への店舗出店	45	■ 多様な自動運転の未来	118
■ 自家用有償旅客運送の取組み	46	■ 自動運転移動サービスの実用化による地域の足の確保	119
■ 移住・定住促進	47	■ ドローンの未来	120
■ フェローシップ・プログラムによる移住・定住の促進	48	■ モビリティ・ハブ	120
■ ホーバークラフトの導入による観光振興を通じた地域活性化	49	■ 子ども・子育てにやさしい自動運転	120
■ 健康と社会的交流を促す高齢者複合施設	50	■ ロボットによる住宅建築	121
■ ドローンによる災害時対応	51	■ 未来の働き方（ワーケーション等）	121
■ インフラDXの推進	58	■ パーク・アンド・ライド等を活用した観光地域づくり	122
■ 一般道と専用道を走行する自動運転車両	61	■ ストック効果を重視した社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進	143
■ 自動運転・隊列走行BRT	62	■ AUV戦略の実現に向けて	145
■ 無人運航船	65	■ 海のデータの総合図書館 海しる（海洋状況表示システム）	146
■ 「レベル3.5飛行」制度の新設	66	■ ゴジラが海底に！？	147
■ チョイソコリゅうおう	68	■ 地域の自家用車・ドライバーの活用に関する各制度の見直し・創設	168
■ NORTH-AI/Eye ～官学連携したAI活用によるインフラ管理のイノベーション～	70	■ ウポポイでアイヌ文化を体験してみませんか？ ～開業3周年を迎えて～	172
■ 持続可能な水道インフラ	71	■ 物流2024年問題への対応について	188
■ 子育て世帯の視点に立ったまちづくり	77	■ 国土交通省と鉄道・運輸機構が連携した鉄道の早期復旧支援	228
■ 習い事への子ども送迎サービス	79	■ 「交通事故被害者ノート」による自動車事故被害者へのアウトリーチ	248
■ 中国地方の物流問題への取組み	84		
■ 担い手不足の解消～外国人材に選ばれる国へ～	85		
■ 公共交通を軸としたまちづくり	88		
■ 交通モードの切替えによる地域の足の確保	89		
■ 農山村における交通・物流の連携	94		

■ 水道整備・管理行政の移管について……………	272	■ 第3回世界海上保安機関長官級会合を開催	297
■ 日本初！IGS解析センターに認定……………	278	■ 地理空間情報を活用した「建築・都市の	
■ G7三重・伊勢志摩交通大臣会合……………	290	DX」の推進……………	304
■ G7香川・高松都市大臣会合……………	291		

インタビュー

■ 建設業界における働き方改革・イノベーションとD&I……………	11	■ モビリティにおける自動運転の可能性……………	63
■ 我が国の労働市場の流動性と賃上げ・イノベーションの関係……………	14	■ 少子高齢化時代の地域公共交通のあり方……………	110
■ 子ども・若者の声を聞くことを社会のスタンダードに……………	43	■ 『ゆきみず だいち つなんまち』持続可能な町の実現への挑戦……………	113

※本白書に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。